

問9 今後のシステムや業務の開始、拡大、変更などの予定や、課題 [自由記述]

目録の作成と提供に関して、今後のシステムや業務の開始、拡大、変更などの予定や、課題などを自由に回答した。

有効回答は604件だった。全体の50%以上(公共130、大学184)が目録担当者の減少や専門職員がいないことによる書誌作成力維持や育成を課題に挙げた。「通常業務として書誌作成する機会があまり多くないため、職員の作成力向上につながっていない。」といった、MARC購入や業務委託等による書誌作成機会の減少も課題の一つとして挙げられた。次いでシステムの機能面について全体の15%以上(公共34、大学63)が回答した。AIに関する回答はそのうち70%(公共14、大学67)を占め、例示に挙げた目録作成、チャットボットに加えて、「分類の補助」や「蔵書の連想検索」等といった回答も見られた。目録に関する課題は全体の10%以上(公共37、大学38)の回答があった。そのうち公共17、大学11が「目録の品質の維持」を課題に挙げた。書誌作成時の統制が不十分であったり、MARC間、現在と過去のデータの入力項目の差による「揺れ」が課題として挙げられた。また、「規則・基準の変更」として、公共では「NCR2018適用」の検討、大学では「分類の版」の変更対応が課題に挙げられた。